

平成25年2月18日

お知らせ

件名	一般国道40号 名寄美深道路 美深IC <small>びふか</small> ～美深北IC <small>びふかきた</small> が開通します<通行無料> ～ 平成25年3月30日(土) 午後4時開通 ～
----	--

お知らせ内容

旭川開発建設部が整備を進めている一般国道40号 名寄美深道路「美深IC～美深北IC」について、下記のとおり開通しますので、お知らせします。

なお、当日は開通に先立ち開通式の開催を予定していますので、併せてお知らせいたします。

記

1 開通について

日時 平成25年3月30日(土) 午後4時
区間 一般国道40号名寄美深道路 美深IC～美深北IC間
延長：約3.3km

2 開通式について

日時 平成25年3月30日(土)
午前11時30分～ 開通記念式(美深町文化会館COM100)
午後0時40分～ 通り初め式(美深北IC付近 本線上)
※欠入れ・走り初めを実施予定

主催者 美深町、一般国道40号名寄・稚内間整備促進期成会、旭川開発建設部

※開通記念式の進行状況により、通り初め式の開始時刻が前後する場合があります。

※開通式の取材を希望される場合は、3月27日(水)までにご連絡願います。

【連絡先】旭川開発建設部 広報官付広報係 電話 0166-32-3148 FAX 0166-32-2179

問い合わせ先	所属	役職名	氏名	代表電話
	旭川開発建設部 広報官	広報官	ながの 豊 <small>ゆたか</small>	0166-32-3097 ダイヤルイン
	旭川開発建設部 道路計画課	道路計画課長	たおくら 史典 <small>ふみのり</small>	0166-32-1403 ダイヤルイン

一般国道40号 名寄美深道路

びふか

びふかきた

美深IC～美深北IC (延長 3.3 km)

平成25年3月30日(土) 午後4時開通

【通行無料】

事業の概要

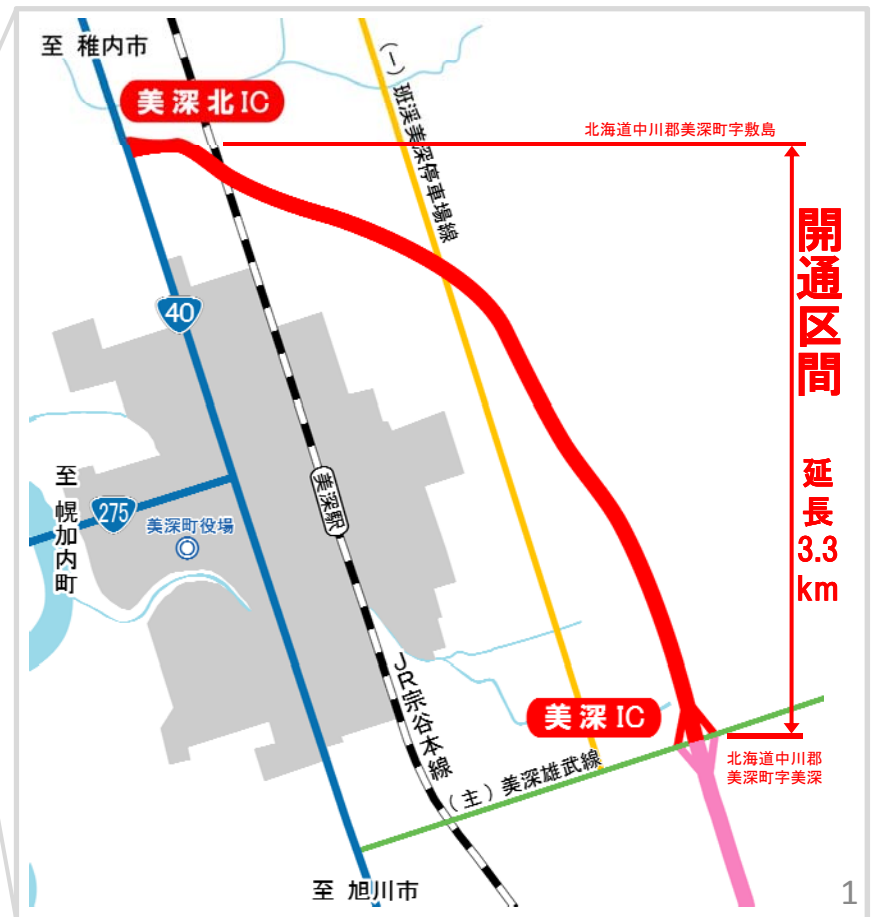
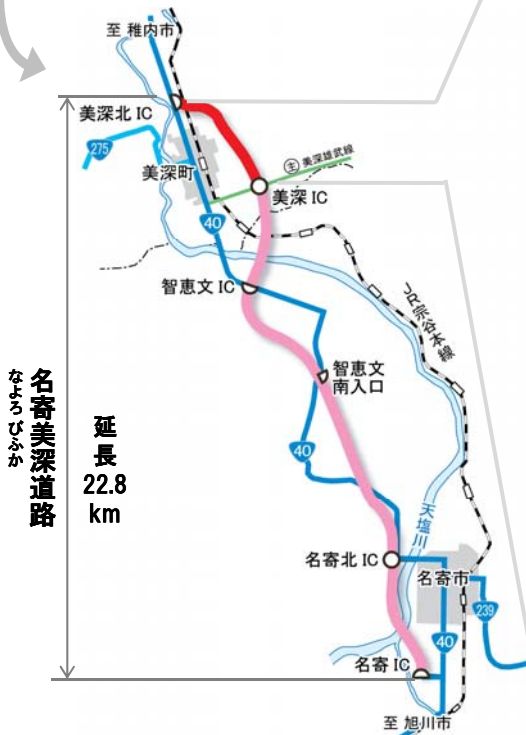
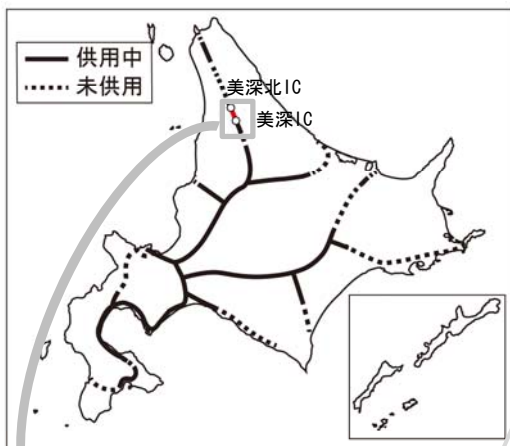
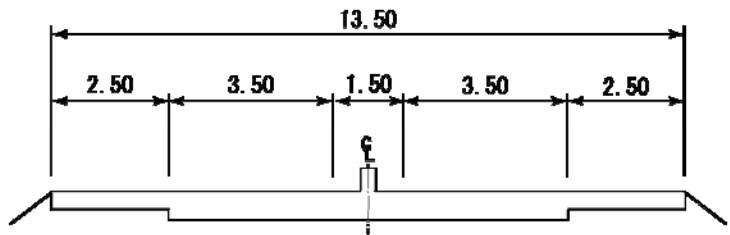
- 一般国道40号名寄美深道路 (美深IC～美深北IC間) は、交通事故の低減や高次医療施設へのアクセス向上等を目的に、市街地を迂回し、美深町字美深から美深町字敷島を結ぶ、一般国道のバイパス事業です。
- このたび、美深IC～美深北ICまでの延長3.3 kmの区間が、平成25年3月30日(土) 午後4時に開通します。

開通区間の概要

[道路規格]

延長 : L=3.3 km 設計速度 : 80 km/h

構造規格 : 1種3級 車線 : 2車線

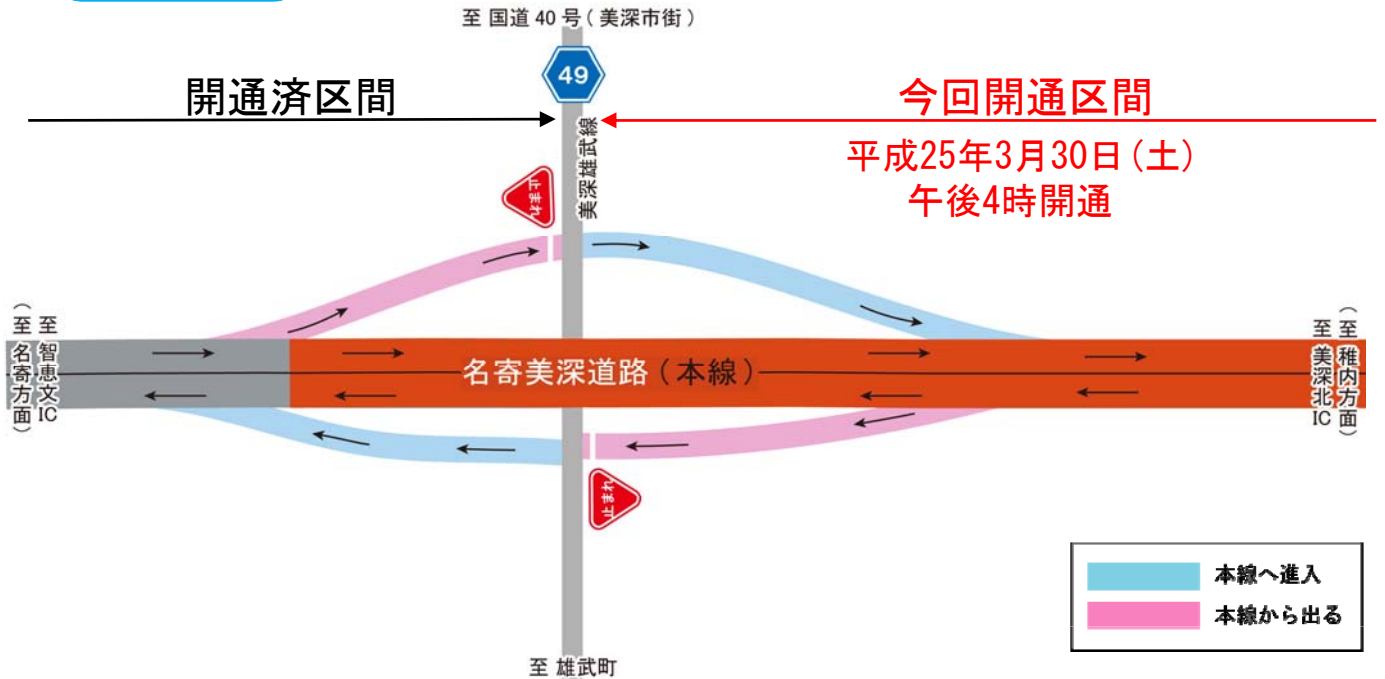


びふか 美深 I C の通行について

智恵文 I C 方向（名寄方面）及び美深北 I C 方向（稚内方面）へのアクセスが可能となります。

本線から出る場合は下図の『止まれ』の標識にて一時停止となります。

びふか 美深 I C

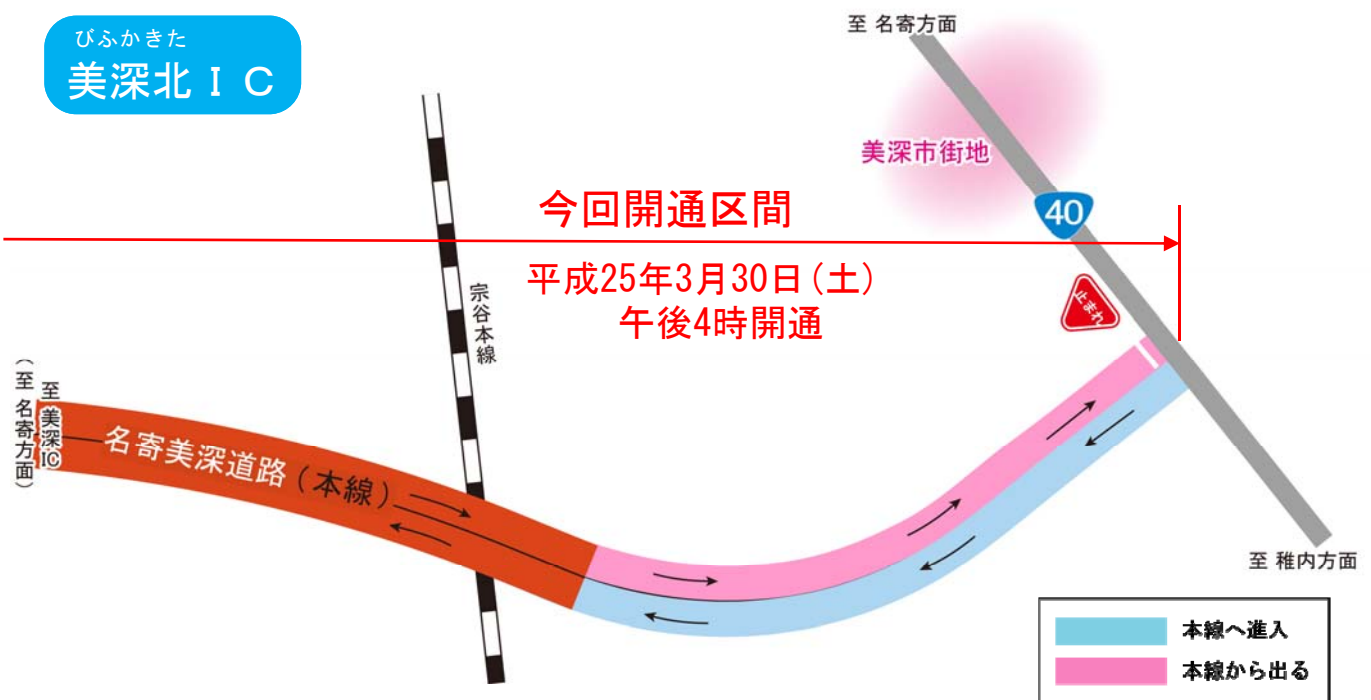


びふかきた 美深北 I C の通行について

名寄方面（美深 I C 方向）へのアクセスが可能となります。

本線から出る場合は下図の『止まれ』の標識にて一時停止となります。

びふかきた 美深北 I C

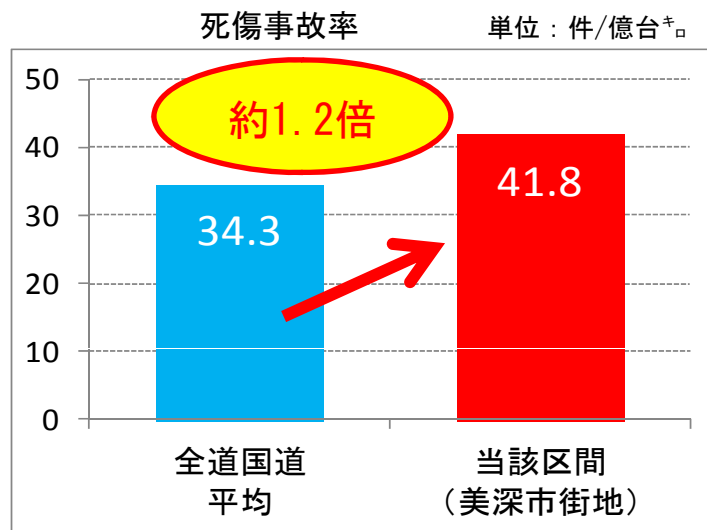


〈整備効果①〉 走行環境の安全性向上

道路交通の安全性向上が期待されます。

- 並行する国道40号のうち美深市街地においては、平成19年～22年の期間で交通事故は10件発生しており、死傷事故率も全道平均の約1.2倍で安全性の確保が課題となっています。
- 名寄美深道路の開通により、事故の多い美深市街地を回避することで、走行環境の安全性の向上が期待されます。

▼国道40号の交通事故発生状況▼



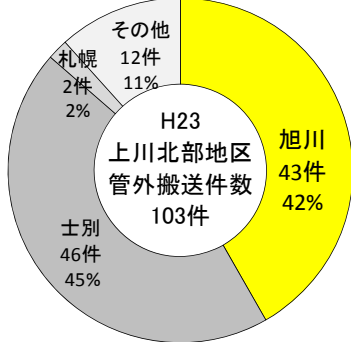
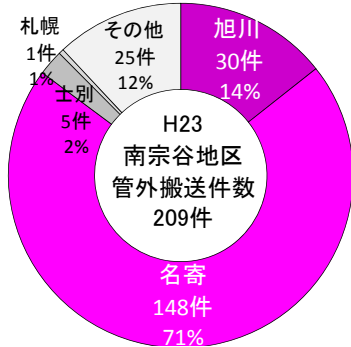
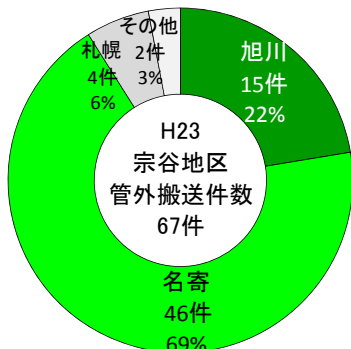
資料：イタルダデータ (H19-H22)

〈整備効果②〉 救急搬送の安定性向上

救急搬送の安定性向上が期待されます。

- 名寄美深道路の整備により、名寄市や旭川市の高次医療施設（名寄市立総合病院等）への救急搬送の速達性及び安定性の向上が期待されます。

▼地区別管外救急搬送先(H23)▼



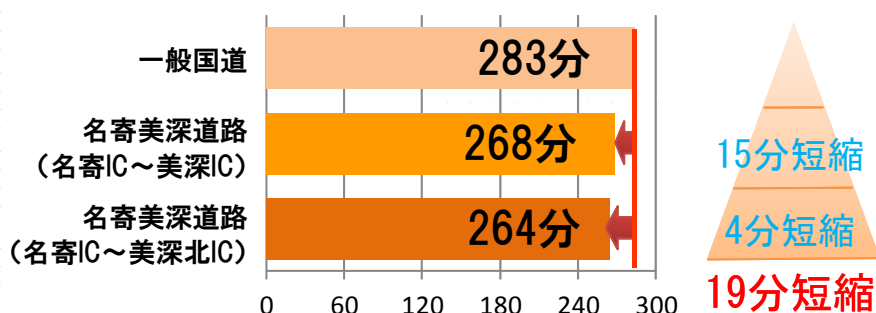
▼宗谷地区・南宗谷地区・上川北部地区の管外救急搬送(H23)▼



注) 搬送手段は全て陸路

資料：稚内開発建設部、旭川開発建設部

▼稚内市～旭川市間の所要時間の変化▼



資料：H22道路交通センサス

〈整備効果③〉 物流利便性の向上

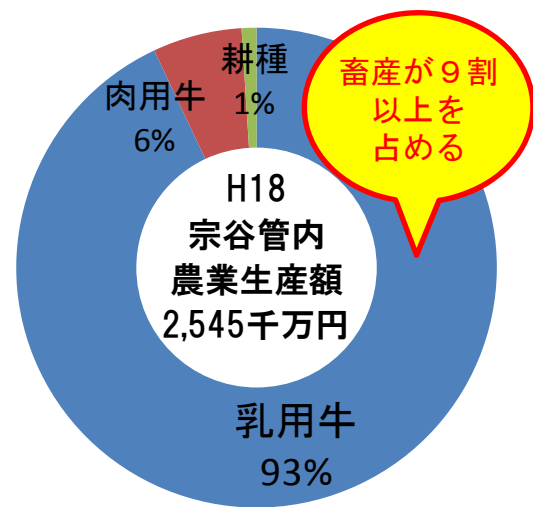
物流利便性の向上が期待されます。

- 宗谷管内は、農業産出額のうち畜産が9割以上を占める北海道有数の酪農地帯となっていますが、年間約3.4万頭の生体牛等が取引されており、このうち約5割は国道40号を經由して旭川市や帯広市に出荷されています。
- 名寄美深道路の整備により、美深市街地を回避した輸送が可能となり、農産品等の物流利便性の向上が期待されます。

▼ホクレン豊富家畜市場からの出荷ルート▼

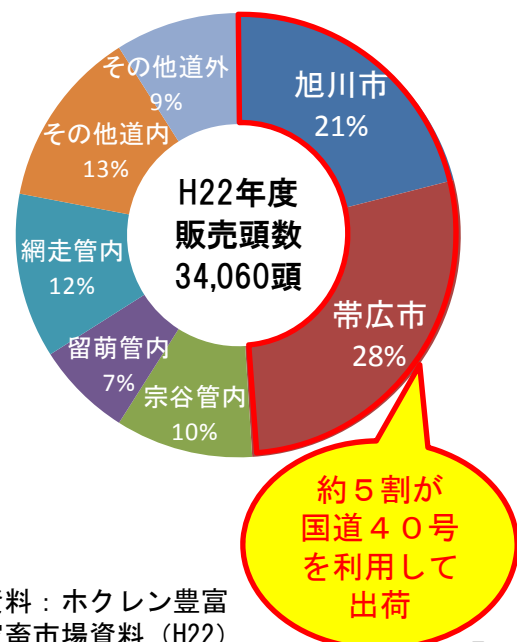


▼宗谷管内の農業産出額▼



資料：北海道農林水産統計年報（H19）

▼豊富家畜市場における生体牛の方面別販売先▼



資料：ホクレン豊富家畜市場資料（H22）